



三豊工だより

5月28日
18



香川県立三豊工業高等学校

〒769-1689 観音寺市大野原町大野原 5537 番地
TEL (0875)52-3011 FAX (0875)52-3012

ホームページ <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh01/> E-mail mitokh01@kagawa-edu.jp

連絡・お知らせ用 <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh02/> (携帯電話からご覧になれます)

3年生 就職活動本番をむかえる

進路指導部 大矢啓正

毎年7月1日になれば、正社員として高卒生を採用しようとする会社から求人票が届きます。就職希望の生徒はこれらの求人票から、自分に合った、またはやりたい仕事を見つけて応募し、採用試験を経て、卒業後に採用しますという内定をもらいます。求人票には会社名・製造業であれば製品名・従業員数・募集している仕事内容(職種)・働く場所・賃金・休日日数・交替制の有無・選考方法・採用人数などいろいろなことが書かれています。

本校にいただいている求人の多くは製造業からのもので、職種は製造現場へ配属される技能職です。部品の加工や製品の組立、または機械オペレータ(連続的に製品をつくり出す機械の運転員)が多くを占めます。また地元の会社には、交替制勤務をとっているところがあります。一般的なものは8時間3交替制で、朝出勤を3日して1日休み、昼出勤を3日して1日休み、夜出勤を3日して1日休み、また朝出勤に戻るというサイクルのものです。深夜帯については割り増し賃金となっています。

選考方法では、面接のみという会社もありますが、多くは一般常識や基礎学力を問う筆記試験を行っています。高校1、2年生程度の学力が求められているようです。欠席日数にも特に注意を払っており、はっきりとした理由のない欠席は大変不利に働きます。また、履歴書という志望理由や取得資格などを書く応募書類があります。これは必ず自筆になるので読みやすい文字が書けることはもちろんのこと、志望理由が明確に伝わるのが好印象につながります。

社会人への第一歩となる仕事選びは、高

校へ進むとき以上に不安や分からないことが多いと思います。応募は一度に1社しかできないので、自分でよく調べたり周りの人の意見を聞いたりして慎重に決めることが大切です。実際に仕事の内容を見比べてみたい場合は、いくつかの会社に足を運んで見学することもできます。一方、会社からもこんな人にぜひ応募してもらいたいという期待があります。そのような期待に応えられるよう日頃から努力することも必要になります。

なかには、自分がどういった仕事に向いているか分からないという悩みを持つ人もいます。そのような場合これまでに受けてきた適性検査や自分をよく知る担任をはじめとする大人、もしくは専門のカウンセラー(進路指導部で紹介)などの助言を参考にすればいいと思います。あらゆる仕事求人としてある訳ではないので、自分に合った仕事に就くために上級学校へ進むことや、自分を仕事に合わせていくということも頭に入れておかなければなりません。

終わりに、今年の3年生の就職希望者は6月の時点で、学校をとおしての就職希望者は60名弱と、昨年と比べると2割弱減っています。その分、公務員や専門学校への進学希望者が増えています。企業訪問などで求人見通しを立てていますが、県内製造職に限ると今年も伸びは期待できない状況です。とくに採用枠1名に対し複数校の応募が予想される求人も増えており厳しさを感じています。これから数カ月、3年生は自分に合った会社選びと就職試験への対策を怠らず、精一杯の力を出し切り実りある結果を掴んでほしいと思います。



25年 7月 行事予定表

日	曜	行 事	食堂	進課
1	月	期末考査 国民安全の日		
2	火	期末考査		
3	水	期末考査		
4	木	期末考査 自転車検定(3,4限:1年)		
5	金	平常授業(45分1~6限) 壮行会(14:40~)	○	
6	土	機械加工技能士講習会(2,3級旋盤,本校:終日)		
7	日			
8	月	午前中授業(1234限) SC	○	
9	火	クラスマッチ(予備日7/10)	○	
10	水		○	
11	木	県高校野球開会式(高松)	○	
12	金	パソコン検定 第1回漢字検定(読果後) 四人研大会(7/11~:高松)	○	
13	土	3級技能士講習会(電子機器組立9:00~,本校) 機械加工技能士講習会(2,3級旋盤,本校:終日)		
14	日	高校生ものづくりコンテスト(旋盤)四国大会(松山)		
15	月	海の日		
16	火		○	
17	水	45分授業(~3限) 薬物乱用防止講話(4限) 1,2年PTA(三者)懇談(7/23まで) 諸費等口座振替日 SC	○	
18	木	保育実習(1,2限:E1前半) 機械製図検定(2次:2~4限)	○	
19	金	終業式・大掃除・LHR		
20	土			
21	日	夏季休業日~8/31 機械加工技能士学科帰郷検(3級旋盤10:30;高松,組立仕上げ及び機械保全13:00;多度津)		
22	月	進学課外(~7/26,1~3限:3年)		○
23	火			○
24	水	1学期再考査		○
25	木	1学期再考査 技能士実技試験(3級;電子機器組立:本校9:00~)		○
26	金	3年PTA(三者)懇談~8/2		○
27	土			
28	日	第二種電気技能試験(高松)		
29	月			
30	火	一日体験入学(8:20~12:05)		
31	水			
食堂営業(7/5~7/18) 野球応援(1年~) PTA研修旅行(8/18 神戸方面)				

先輩講話

6月10日(月)

岡山理科大学知能機械工学科 高橋孝明氏(平成24年電子科卒)

3年次の課題研究でロボット競技大会に取り組んだことで、ものづくりの楽しさを知り、今の進学先を決めたことや、一方で現在感じている基礎学力不足の課題について等、経験から生徒たちに「今」の学習の大切さを熱心にお話いただきました。



四電エンジニアリング 久保淳三氏(平成13年機械科卒)

「今高校で勉強していることは全ての基礎になる。」「華やかな仕事ではないかもしれないが、製造業が今の暮らしを支えている。」という言葉には説得力があり、生徒たちも久保さんの話を聞きながら「今」を大切にすることの重要性を感じ取っているようでした。



県高校総体結果!

陸上競技部	各種目出場選手が自己ベストを更新!		
	棒高跳び 6位入賞 今井教統選手 4m50cm (自己新)		
バスケットボール部	1回戦 vs 藤井高校(107対56) 勝利		
	2回戦 vs 善通寺第一(37対128) 敗退		
卓球部	個人戦	シングルス	ベスト64 藤川(E3) 池田(E3) 永岑(O3)
		ダブルス	ベスト32 藤川(E3)・池田(E3)ペア
	団体戦	2回戦 vs 琴平(3対0) 勝利 3回戦 vs 三木(1対3) 惜敗	
ソフトテニス部	個人戦	3回戦出場	岩田(M3)・磯野(O2)ペア 寶田(M3)・木下(O3)ペア 垣見(S3)・田岡(M2)ペア
		団体戦	1回戦 vs 英明(3対0) 快勝 2回戦 vs 丸亀(1対2) 惜敗
ラグビー部	vs 坂出第一 (5対21)	vs 高松北 (7対24)	vs 坂出工業 (0対38)
剣道部	個人戦	2回戦進出 磯野拓(O1)	
	団体戦	1回戦 vs 尽誠(5戦4敗1引き分け) 敗退	
弓道部	個人戦	決勝	久保誠(O3) 9中/12射
		二次予選	黒田(S3) 4中/8射 中野(M3) 4中/8射
	団体戦	予選	18中/20射
登山部	4位		
少林寺拳法部	団体演武	3位 藤田(M2)・鎌倉(O2)・白井(O2) 三好(O2)・宮崎(O2)・杉山(M1)	
	規定組演武	宮崎(O2)・山中(E2)組	

四国総体結果!

陸上競技部	棒高跳び 4位入賞 今井教統選手 4m40cm インターハイ出場決定!!
少林寺拳法部	団体演武 4位入賞
	組演武 予選敗退



熱い夏に向けて!

6月8日(土)、観音寺市内の3校で対戦している恒例の観音寺市内定期戦が行われました。初戦は観音寺第一高校と対戦し、2対14という結果で5回コールド負けをしました。

本校の野球部は今年13名の新入部員を迎え、夏に向けて厳しい練習を行っています。今大会でも新入生がヒットを打つなど期待できるプレーも見られました。今回の課題を克服し、さらに強い三豊工魂を備えたナイン達がレクザムスタジアムでひと暴れしてくれることでしょう。三豊工生徒全員の応援で盛り上げていきましょう。



やしてみたりなど
すわっていない赤
うちに自分の腕や胸

進路ガイダンス

6月13日(木)の放課後、3年生を対象に進路ガイダンスが開かれました。毎年進路指導部が、就職を控えた3年生に企業の業種や製造業の職場への理解を促し、進路決定を支援するために開催しています。今年も地域の企業8社から12名の講師の方が来校され、実体験や企業の紹介を含め、分かりやすく説明していただきました。

保育体験学習(01前半)



社会人講師による授業

6月26日(水)、三宅和美氏(元四国計測工業株式会社勤務)による体験学習型授業が行われました。対象は電子科1年生で、プロから電子技術について丸一日かけて指導をしていただきました。プロの技を自分の目で見て学び、生徒たちも集中して作業に取り組んでいました。基板に電子部品を取り付けたり、組み立てたりして光検出器を製作しました。長時間かけて出来上がった作品に電源を投入した生徒たちは自分の作品が動作するのを見て、喜びと達成感を表していました。

